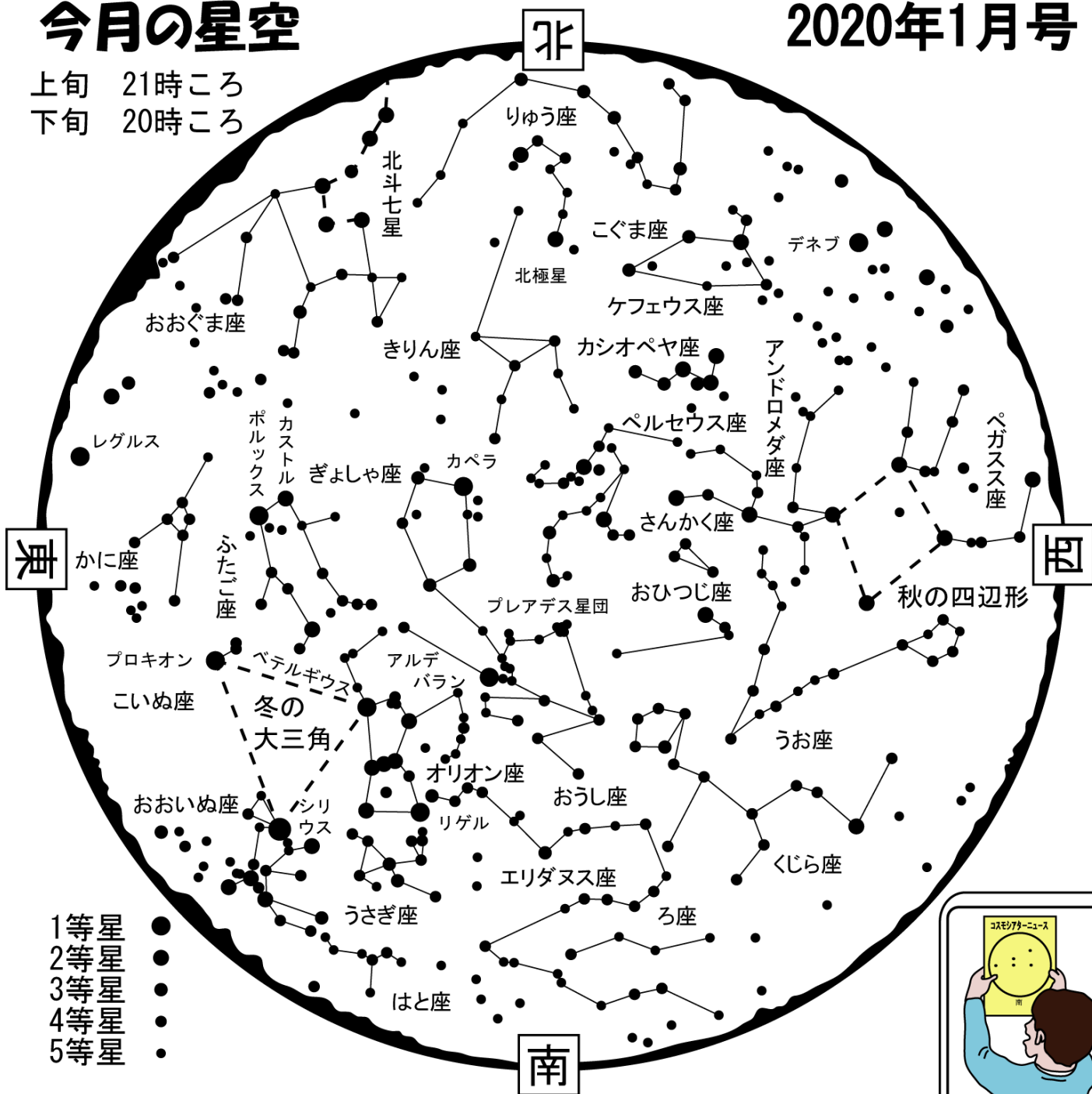


コスモシアターニュース

今月の星空

2020年1月号

上旬 21時ころ
下旬 20時ころ



- 1等星 ●●●
- 2等星 ●●
- 3等星 ●●●
- 4等星 ●●●●
- 5等星 ●●●●●



自分の向いている方向を下にして、見てください

今月の惑星の動き

水星と土星：見かけ上太陽に近く、肉眼で見つけるのは難しいでしょう。
 金星：夕方、南西の空に見えます。明るさは-4等星です。上旬は20時ころ、下旬は21時ころ沈みます。
 火星：南東の低い空に見えます。明るさは1.5等星なので、見つけにくいでしょう。
 木星：下旬の明け方、南東の低い空に見えます。明るさは-2等星です。来月以降は見やすくなります。

今月の月の満ち欠け

上弦：3日(金) 満月：11日(土) 下弦：17日(金) 新月：25日(土)

4日(土)、明け方、りゅう座(しぶんぎ座)流星群

流星群の流星は、彗星のまき散らしたチリが地球に飛び込んでくる時に光って見えるものです。地球から見ると、ある地点から放射状に流れるように見えます。その流れ出す地点(放射点(ほうしゃてん))のある場所をとって、何々座流星群と呼びます。今回のりゅう座流星群は、りゅう座の方向から全天に流れていきます。(※昔は、ここにしぶんぎ座があったので、しぶんぎ座流星群と呼ばれることがあります。)

りゅう座流星群の極大は、4日(土)の夕方ころです。4日の明け方が極大に近いのですが、この流星群の極大期間は短く、条件がよくありません。この条件から、実際に見られる数は、松山市内で4日の未明から明け方ころに、1時間あたり5~10個程度になるでしょう。なお、郊外に出かけると、1時間あたり20個くらい見られるかもしれません。ただ、極大の期間が短いので、4日の明け方以外は、流星はあまり見られません。おおまかに、1日限りの現象と思ってください。

りゅう座は、あまりはっきりした星の並びはありません。よって、観察する時は、星を目印にするよりも、おおまかに北東の空を見ればよいでしょう。

23日(木)、明け方、南東の低い空で、月と木星が並んで輝く

23日(木)の明け方の午前6時ころ、南東の空から細い月が昇ります。そして、月に続いて昇ってくる明るい星が、木星になります。日の出が近く、朝がすぐにやってくるので、見えるのは午前6時30分ころまでです。木星が明るいので、快晴に恵まれば、月と木星が並んだ美しい姿が楽しめるでしょう。

28日(火)、南西の空で、月と金星が並んで輝く

28日(火)の夕方、南西の空に三日月が輝きます。そして、この三日月のすぐ右上に、金星が並び美しい眺めとなります。見やすいのは、18時から19時ころです。なお、18時ころは夕焼けが残っている状態ですが、金星が明るいので、早めにご覧いただくほうが、鮮やかに見えるでしょう。

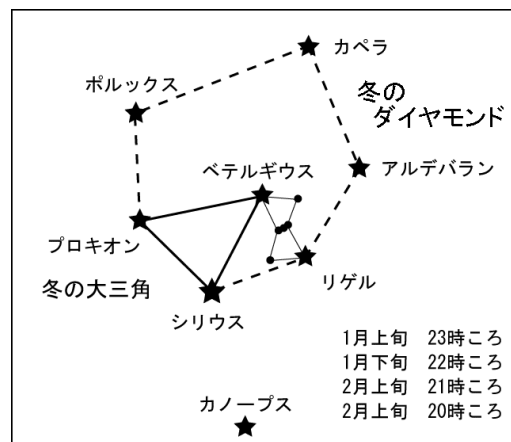
★冬の明るい星を見よう

冬の夜空は、右のように冬の大三角や冬のダイヤモンドといった分かりやすい星の並びがあります。

これらの中で、最も明るいのはシリウスです。プロキオンも明るく、冬の大三角は大変目立つ存在となるはずですが、ただ、20時ころではまだ高さが低く、南の空高く見えるのは、夜遅くになります。

冬のダイヤモンドは冬の六角とも呼ばれ、大変大きく広がっています。また、カペラは頭の真上を越してやや北の空よりに、ポルックスはほぼ頭の真上になります。

なお、右の図は、南の空を眺めたときの星空で、上が北、右が西、左が東となっています。



★冬の明るい星の名前

冬の明るい星は、古くから注目され、日本でも特別な名前をつけて読んでいました。ぜひ明るさ比べとともに、色の違いなども観察してください

星の名前	星の色	明るさ	星座	日本での固有名 呼び方の理由
シリウス	青白	-1.46 等星	おおいぬ	青星(あおぼし) 青く見えるため
カノープス	白	-0.72 等星	りゅうこつ	おうちやくぼし 少ししか空に見えないので
カペラ	黄色	0.08 等星	ぎよしゃ	虹星(にじぼし) 低い時いろいろな色に見えるため
リゲル	青白	0.12 等星	オリオン	源氏星(げんじぼし) 源氏の白旗の色に見えるため
プロキオン	白	0.38 等星	こいぬ	いろしろ ずばり、白く見えるため
ベテルギウス	赤色	0.5 等(変)	オリオン	平家星(へいけぼし) 平家の赤旗の色に見えるため
アルデバラン	オレンジ	0.85 等星	おうし	すばるのあと星 すばるのあとに昇ってくるため
ポルックス	オレンジ	1.14 等星	ふたご	金星(きんぼし) 金色に輝いて見えるため
カストル	白	1.58 等星	ふたご	銀星(ぎんぼし) 銀色に輝いて見えるため

※星の明るさは、数が少ないほど明るくなります。また、ベテルギウスの明るさの(変)は、明るさが変わる変光星(へんこうせい)という意味です。カノープスは、高度が低く、大気の影響で実際より赤く、暗く見えます。